

11/3 朝版

「国民投票 参院選時に」

維新代表 改憲姿勢あらわ

日本維新の会の松井一郎代表は2日、大阪市役所内で行った定例会見で、来年の参院選までに憲法改定案をまとめて、参院選と同時に改定の国民投票を実施すべきだと考へを示しました。

松井氏は憲法審査会や協議会の具体的なとく述べ、数の力で「投票率も上がるし、方的に改憲をすすめていく議論も展開しました。

一つの大きな選挙のテーマとなる」として、「憲法改正案を各党は出すべきだ」と発言。自民党を補完し、改憲の突撃隊としての本性をむき出してしまった。

松井氏は憲法審査会

日程を決めるよう主張。「立憲民主、共産のボイコットについて審査会の議論が進んでいい」とした上で、「こんなおかしな話はない。ボイコットする側をいぐり待つて座に厚意する維新。改憲を求める世論は一貫して高まります、その必

要もない。命といへり」改憲を煽（おお）る。憲かの反論しあうこれが維新的に『改た。

衆議院では総選挙の結果、自公、維新の議席数を合わせると改憲勢力が三分の二を上回りました。岸田文雄首相は、自民党総裁任期中の憲法改定実現に意欲を示しています。

松井氏の改憲国民投票を来年夏の参院選と同日実施するとの主張を受けて、日本共産党の山添拓参院議員はツイッターで「岸田直相が改憲に前向きの発言をしたかと思えば、即座に厚意する維新。改憲を求める世論は一貫して高まります、その必